



護国

建國記念日祭挨拶

皆様こんにちは。

本日の建國記念日祭に際し、このように多くの皆様のご参拝を頂き洵に有難う御座います。

日頃より英霊の慰霊顕彰、神社護持、奉賛に格別のご支援賜り、重ねて御礼申し上げます。

本年皇紀二千六百七十四年を目出度く迎えました。

神話より繋がる悠久の歴史を誇る皇室の弥栄と国家の繁栄・世界平和をご祈念申し上げます。

昨年は、皇室のご祖神であり、日本人の総氏神、心のふるさと伊勢神宮の第六十二回式年遷宮の最大重儀「遷御の儀」が内宮で十月二日、外宮では五日に、畏くも皇陛下に於かれましては同時刻に、ご遙拝遊ばされ黒田清

御祭神数

本年四月九日の靈璽奉安祭に御鎮祭申し上げた御祭神は一柱。総御祭神柱数は、四万九千七百二十六柱となります。

宮司 小川 純 生

子様が臨時齋主を勤められ秋篠宮殿下が御参列、また安倍首相も参列され、静闇の中、古式ゆかしく百人余りの神職の奉仕により「絹垣」(ぎんがい) 囲まれたご神体が、ご新宮に肅々とお遷りお鎮まりになりました。

この二十年に一度の式年遷宮は、天武天皇のご発意により持統天皇の御代に始まり、爾来千三百二十三年を経過した今日も脈々と受け継がれています。

内宮、外宮ほか百二十五社、ご神宝、御装束が古式に則り全く同じ規格で造り替えられ今日に至っています。

ご遷宮は神々の蘇り再生を意味し、神道では「常若」(とこわか)と申しまして新しい御殿にお遷りに成られる度に新たに瑞々しく若返りされ、ご神威が益すことを意味します。これに呼応した如く、安倍政権が誕生致し

ました。

このことは、日本の再生を託された神の御意志ではないかと思えます。

しかし我が国を巡る現状は、北方領土をロシアに竹島を韓国に不法占拠され、未だに返還のめども立たず、我が国固有の領土である尖閣諸島が中国艦船による恒常的な領海侵犯にさらされ、さらに国際法を無視し一方的な防空識別圏の設定により、日本をとりまく情勢は依然厳しく困難な状況に変わりはありません。

この根本的な打開策は、占領下という主権の存在しない状況下で米国に押し付けられた、自国を自国で守る事の出来ない、現憲法の改正が急務であり、自国民自らの意思による自主憲法の制定が喫緊の課題であり、この憲法改正を掲げて誕生したのが、安倍首相であります。

しかしながら、昭和二十七年の講和条約の発効により主権を回復した時点で憲法を改正すべきでありましたが、それを怠り今日に至っています。

今に至っては、たちまちには国民の理解は得られがたく、国民に対する説明責任を充分に果たした上で、現政権下では是非とも自主憲法の成立を期して頂きたいと思えます。

自国の平和と繁栄を維持するには、より積

極的な外交政策と、安全保障政策が重要で、安倍政権では、昨年末、国家安全保障会議、

(日本版NSC)を設置し、特定秘密保護法案を成立させ、米軍普天間基地の辺野古移設に伴う埋め立ての承認を、沖縄県の仲井間知事から取り付け、同盟国とのより深い信頼関係を構築致しました。

外交に於いても、米国はもとよりアセアン全十ヶ国を始め、東欧・中東・アフリカ・インド等を歴訪し、経済外交を積極的に展開、より強い信頼関係を築きました。

一方、共産党一党支配で国際法を無視し続ける、中国の拡張主義に対して、関係国との連携により包囲網を築き、日本の安全保障と国際的な信用を大きく向上させました。

また安倍首相は、今年の十二月二十六日、遺族をはじめ多くの国民が待ち望んでおりました靖國神社参拝を果たされました。

国のため尊い命を捧げられた英霊に対し、国家国民を代表し、敬意と哀悼の意を捧げることは当然であります。左翼的なマスコミ、靖國神社参拝を外交カードとして不当な内政干渉を続ける中国・韓国の圧力に屈することなく堂々と参拝されました。

深く感謝致しますと共に、今後も参拝を重ね定着化し、内政干渉を断ち切り、両国が独立国家としての当然の権利として認めてこそ、

真の友好関係が生まれるのではないのでしょうか。

最後に私たち一人一人は微力ではありますが、心を同じくする人たちと共に一丸となり、自主憲法の制定が安倍政権下で、実現するべく支援して行くことをお誓い申し上げます。どうぞ、本日ご参拝の皆様にも理解を頂き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、本日のご挨拶に代えさせて頂きます。

ふるさとの教育力

愛媛縣護國神社崇敬奉賛会

会長 中山 紘 治郎

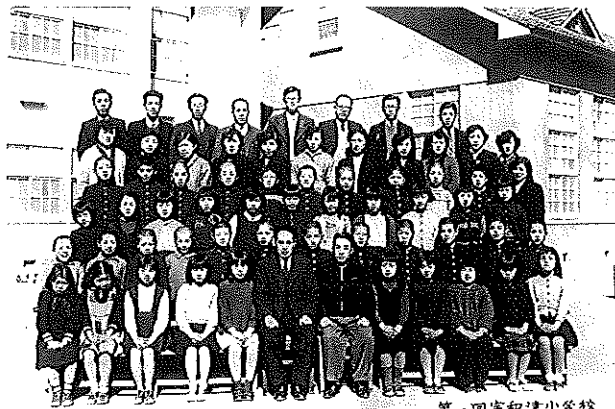


ありがたいふるさと

高村光太郎の詩、「母をおもふ」は高校のときに教わった。

「母を思ひ出すとおれは愚にかへり 人生の底がぬけて 怖いものがなくなる どんな事があるうともみんな 死んだ母が知ってるやうな気がする」。この一節は忘れられず、古希をこえたいまも覚えてる。口ずさむと教室の甘酸っぱい匂いが蘇り、日々学舎からながめた四季折々の宇和海や鬼ヶ城のどっしりとした山容が目につかぶ。進学のため十八で母のもとを去ってからは、社会人となってすぐ宇和島の支店に勤めたことはあったが、あとはずっと全国各地での転勤暮らしであった。それでいつのころからか、この詩の母は、実の母から父や姉弟、学校の先生方、甲子園を夢みて猛練習に励んだ野球部の仲間と監督やコーチなどなど、自分を育ててくれた忘れたくない人々と故郷のなつかしい山河にとってかわるようになった。両親はもとより、ふるさとの人たちのおかげで私という人間の土台がつくられたのだ、とふるさとをつくづくありがたく思う。ふるさととは人を育てる母胎である。日本古来の神道や浄土教と禅宗に由来する「日本のこころ」をはぐくむゆりかごである。

卒業式を終えた教室で、小学校の恩師が別れの辛さを堪えながら諭してくれた言葉は忘れていない。「卒業証書を手にして、父兄に恩恵を感謝することは、きみたちの義務である」、「読むこと、書くこと、考えることを習慣づけるように」、「後悔先に立たず、常に先々のことを考えるように」、そして最後に「困ったことがあったら、いつでも相談に来るよう」と言われたとき、私は感極まって嗚咽していた。六年生の夏休みのこと、級友たちと遊び心で人の道にはずれない行いをしたとき、先生は烈火のごとく怒り、「ばかあ」と大



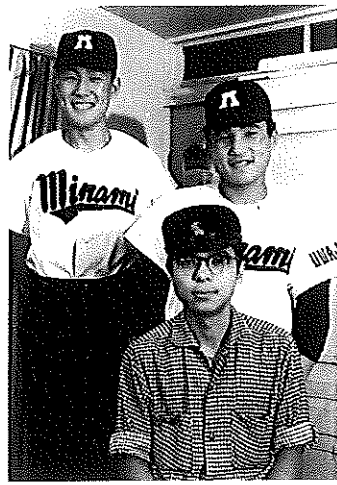
宇和津小学校卒業記念写真 昭和30年3月
4列目左端が筆者。前列中央右が担任の宇都宮先生

声で叱咤すると、平手でみんなの頬をうった。痛みが去り、そっと顔を上げると、そこには大粒の涙をぼろぼろこぼしながら、じっと教え子を見つめる先生の泣き顔があった。そのときのことを思い出し感涙のなかで、生涯二度と先生を悲しませてはならない、と誓ったのだった。

高校の野球部の監督は町の医師だった。盆と正月、監督は自宅に部員をまねぎ馳走してくださった。もっとも食事の前に必ず私たちは二階の和室に集合し、監督の話に耳を傾けた。それは日本の伝統文化についての話で、日本人の倫理や美意識は神道に由来しているということからはじまり、宇和島伊達藩の治世がいかにすぐれていたかというお国自慢、とくに八代藩主の宗城の見識の高さと国家的な活躍をよく語ってくれた。それから家族総出で用意して下さった郷土料理をみんなで楽しんであと、「君が代」を斉唱し、「天皇陛下万歳」を三唱して散会したものである。

人として、また日本人としてどうあるべきか。海も山も野や川も、そしてなによりもそこで暮らす人々が、いわばふるさと総ぐるみで次の世代の青少年を教育していたのである。私はふるさとの教育力によって、人間が生きてゆくうえで一番大切な情操、豊かなこころ、日本人固有の情緒といったものを、まがりな

りにも身に着けることができたのだ、と思うことしきりである。どんなことがあっても、ふるさとを思い出すと力がわいてくる。



野球部の級友と 左が筆者

日本のこころの再生を

ひるがえって、今日の若者はどうなのであるうか。教育の劣化が声高く叫ばれるようになって久しいものがある。教育の劣化は民族衰亡の兆しだともいう。「考える力を育てよう」「個性を伸ばす教育を」、あるいは「こころの教育」「生きる力」など、そのつど教育の世界に立派な目標があるものの、考える力や個性とは何か、育てなければならぬこころや生きる力とは何か、およそ具体的ではなく、学歴至上主義の受験競争と偏差値教育のなかでいつも上滑りするだけである。多くの若者たちはますます自己中心的になり、なかにはいわゆる「六無主義」におちいり、自分

の殻に閉じこもって人々との共感や連帯をもたないままに大人になってゆく者も多い。一般の若者たちはというと、他人や社会への思いが欠落し、自分の意見をもたず、かといって人の話も聞けず、自分さえよければという利己的な生き方をする傾向が年々強くなっている。総じて言えることは、今日の若者たちに「日本のこころ」がはぐくまれていないということである。戦後の日本社会はモノの豊かさやひきかえに、伝統的な「日本のこころ」を見失いつつある。ここに教育の劣化の根本的な原因がある。いま求められている教育の再生は、皇国日本の国柄の伝統と美しさを教育内容のなかにしっかりと体系化することから始めなければならないと思う。

戦後七十年近く経った今日、私たちはアメリカの占領政策の最大の目標が、「日本のこころ」を核とした日本精神を滅ぼすことにある、そのため「民主化」の名のもと戦前の教育の全面的な否定が行われたことが、多くの史料の研究から実証されるようになった。教育勅語の廃止、日教組の誕生、自虐史観の植え付けなど、戦後の日本の教育は自らの国柄を貶めるばかりであった。安倍総理の「日本を取り戻す」なかに、日本のよきふるさとと、「日本のこころ」が含まれていることはここに言うまでもない。

平成二十五年

第六十回 新穀献納慰霊祭

愛媛縣護國神社

平成二十五年(第六十回)新穀献納慰霊祭は一月十一日(土)午前十一時より、愛媛縣護國神社で厳かに執り行われた。

愛媛県郷友会永井理事長が祭主となり、ご来賓を始め遠く県下から単体会長、役員等四十数名が参列した。県下会員、県民のご協力により拠出されたお初穂料・新穀を奉納し、英霊を御慰めした。

略々初期の目標を達成することができ、感謝申し上げます。

祭 文

本日、愛媛縣護國神社の大前において、ご来賓及び郷友会員多数ご参列のもと第六十回新穀献納慰霊祭が、厳かに執り行われるにあたり郷友会を代表して謹んで祭文を奏上いたします。

この献穀運動は、幾多の事変、特に大東亜戦争において、戦禍に倒れ、あるいは、遠い異郷の地に亡くなられた郷土の英霊の皆様方

に収穫された新米を献じることから日本郷友連盟の発足する三年前の昭和二十八年に始まりました。

今日の豊かな生活を享受できるのは尊い英霊皆様方の犠牲の上であり、感謝の誠を捧げる慰霊顕彰の伝統行事として会員の皆様の協力を得ながら続けて参りましたが今では定着されております。

今後永久不滅の愛のある愛媛県の誇れる伝統行事として継続実施する決意を新にしております。

しかし戦後七十年を迎え、会員の高齢化による活動の衰退、減少が著しく、戦争を知らない世代七十才以下の国民が八割以上を占めている今日、日本の将来を懸念しております。

平和の尊さと戦争の悲惨さを体得している私達は、先輩として語り継ぐべき重要な継承存続の責務があり、軍歴がなくとも誰でもが入会できる郷友会であり日本郷友連盟の理念でもあります、自分の国は自分で守るという国防意識の高揚、英霊・殉職自衛官の慰霊顕彰、栄光ある歴史及び伝統文化を継承するという三点の具現実行を通じて組織の活性維持に努めております。

この時に当たり安倍総理大臣が就任一年の

節目である十二月に、現職総理としては七年振りと言われる靖國神社に公式参拝をされました。

このことは、英霊に対する崇敬の念と国防意識の高揚併せて、世界平和の貢献を推進する国民世論の向上に寄与することが大きく期待できるものと信じます。

又、靖國神社に代わる、新慰霊施設の動きにも断固反対の立場を貫徹しながら、今後共、我々一四〇万国民のやさしさとパワーを結集し、豊かで住みやすい郷土造りに専念努力する所存であります。

又、自衛隊に関しては、最近の近隣諸国の動静は予断許しがたき不穏な行動が多く憂慮される中、益々のご奮闘を期待すると共に、その活動に対し限りなく最大限の支援を続けて参ります。

終になりましたが、在天の英霊、どうか御遺族の皆様をはじめ県民全てにご加護を賜り、安らかにお鎮まり下さいますよう祈念し祭文と致します。

平成二十六年一月十一日

愛媛県郷友会

理事長 永井之保

『戦友団体等による慰霊祭』

平成二十五年

十月 六 日 愛媛県隊友会

十月 二十六日 愛媛 借行石鉄会
戦没者戦争裁判殉国者

『遺族会等による慰霊祭』

平成二十五年

十月 五 日 今治市関前支部

十月 十八日 西予市野村町貝吹

平成二十六年

三月 十三日 大洲市肱川

三月 十三日 今治市上浦町

三月 二十二日 西予市宇和支部

三月 二十二日 西予市城川支部

三月 二十二日 西条市小松地区

三月 二十五日 西予市三瓶支部

〔奉納者並びに寄贈図書〕

一、明治天皇御年譜 改訂版

東京都渋谷区 明治神宮様

一、大國魂神社大祭史

東京都府中市 大國魂神社様

一、第六十二回神宮式年遷宮記念写真帳

御遷宮

一、伊勢市宇治仲之切町 伊勢神宮崇敬会様

一、寒川神社小誌 神奈川県高座郡 寒川神社様

一、全国護國神社巡拝ガイドブック 佐印めぐりの旅 京都市 山中浩市様

一、DVD「憲法改正へ立ち上がる日本会議」 憲法改正の論点Q&A

あなたの疑問に答える20の論点 自衛隊を国防軍にする理由 憲法改正へ／今こそ知りたい自衛隊Q&A

伊勢の神宮のおはなし 子供たちに伝えたい式年遷宮 東京都目黒区 日本会議事務総局様

一、DVD「金鶏輝く建国の聖地」 奈良県橿原市 榎原神宮様

一、完訳超古代史秀真 上・下 横浜市磯子区 須田麻紗子様

〈永代祭祀料基金奉納者御芳名〉

平成二十五年 十月

一、五万円也 喜多郡内子町 藤本 正市様

一、五万円也 東温市田窪 中川美智子様

全 十一月 野口美佐美様

一、拾万円也 松山市平井町 片山 京子様

平成二十六年 三月

一、四万円也 西予市宇和町

平成二十五年(十月)秋季慰霊大祭奉仕者 (敬称略)

遺族会代表献供奉仕者

女性 部 大洲市平野町 矢野郁子 大洲市藤縄 新多鐵男

献奈葉奉仕者(奈葉家淡交会松山支部) 加藤宗敦社中 松山市三津 古田敏枝 宮田宗秀社中 東温市牛淵 林 庸子

献花奉仕者(愛媛県華道会) 聴 春 流 松山市二番町 新開規絵 聴 春 流 松山市二番町 矢野愛理

敬神婦人会代表献供奉仕者(愛媛縣護國神社敬神婦人会) 新居浜市敬神婦人会 新居浜市宮原町 千葉 千津子 今治市敬神婦人会 今治市大西町 山本博子

浦安の舞奉仕者 愛媛 銀行 末広町支店 乾 明日香 愛媛 銀行 末広町支店 横山 彩華

愛媛 銀行 中央通支店 竹内 桃子 愛媛 銀行 余戸支店 渡瀬 夏子

指 導 者 伊予郡砥部町 池田 円 献吟奉仕者 九日(霊壘奉安祭・宵宮祭)

愛媛県吟詠詩舞総連盟 藤岡 江心 愛媛県吟詠詩舞総連盟 西藤 櫻山

愛媛県吟詠詩舞総連盟 大窪 柳星 十日(大祭)

愛媛県吟詠詩舞総連盟 三浦 紫祥 愛媛県吟詠詩舞総連盟 中井 静玲

愛媛県吟詠詩舞総連盟 武智 浜孫 尺八献奏者

愛媛県吟詠詩舞総連盟 横野 嵐将山 献誦奉仕者(愛媛縣護國神社献誦会)

九日(霊壘奉安祭・宵宮祭) 村井安夫会長他愛媛縣護國神社献誦会會員有志

〈平成二十六年 新春団体祈願者芳名〉

(株)愛媛銀行 松山市勝山町

大森商機(株) 松山市空港通

ラックテール 松山市歩行町

極東電設工業(株) 松山市今在家町

四国放教(株) 松山市姫原

ネットヨク瀬戸内(株) 松山市中央

扶桑建設工業(株)松山営業所 松山市問屋町

シブヤ精機(株) 松山市高岡町

健全な男女共同参画社会をめざす会 東温市上村

伊台中学校同窓会 松山市築山町

大新土木(株)四国営業所 松山市一番町

(株)商工組合中央金庫松山支店 松山市西長戸町

(株)成王建設 松山市余戸中

三徳電機(株) 松山市朝生田

(株)四国消防 松山市湊町

四国電力(株)松山支店 松山市東長戸

(株)菱和設計コンサルタント 松山市森松町

学校法人慶応学園慶応幼稚園 松山市萱町

キュービックグループ 松山市平和通

四国通建(株)松山支店 松山市千舟町

(株)愛媛銀行末広町支店 松山市辻町

(株)芙蓉コンサルタント 松山市問屋町

はじめ科字(株) 松山市道後今市

(株)シャンテイ 松山市中央

前田道路(株)松山営業所 松山市美沢

(株)ミサワハウス

- (株)住ぶ産業四国支店松山営業所 松山市山越
- エフエーシステムエンジニアリング(株) 松山市北藤原町
- (株)愛媛バートナーエージェンツ 松山市勝山町
- ハイスピードコーポレーション(株) 松山市久万ノ台
- (株)シャープ松山オーエー 松山市清住
- (株)三福ホールディングス 松山市湊町
- (株)愛媛銀行本店営業部 松山市勝山町
- (株)一宮工務店松山支店 松山市松前町
- 応用地質(株)四国支社 松山市山越
- (株)伊予銀行一万支店 松山市勝山町
- (株)伊予銀行個人ローンセンター 松山市三番町
- 共立建設(株)四国支店 松山市南持田町
- 四国ホーム(株) 松山市中村
- NEC西日本アットノンシングセンター 松山市福音寺町
- (株)愛媛銀行湯築支店 松山市道後北代
- 第一三共(株)愛媛営業所 松山市勝山町
- (株)セールスブレイン 松山市星岡
- 大東建託(株)松山支店 松山市和泉北
- 四国ノミ(株)松山営業所 松山市空港通
- (株)きんでん愛媛営業所 松山市空港通
- 帝人(株)樹脂事業本部 松山市北吉田町
- 四国電力(株)松山支店総務部 松山市湊町
- (株)伊予銀行コンプライアンス統括部 松山市南堀端町
- (株)伊予銀行愛媛県庁支店 松山市一番町
- 愛媛県警察本部機動捜査隊 松山市若草町
- キリンビールマーケティング(株)愛媛支社 松山市二番町
- 中四国統括本部松山支社 松山市二番町
- 帝人在宅医療(株)松山支店 松山市一番町
- 富士通(株)松山支店 松山市永代町
- (株)幸栄開発 松山市和泉北
- 西日本建物(株) 松山市和泉北
- S M B C日興証券(株)松山支店 松山市三番町
- 大東建託(株)松山北支店 松山市本町
- (株)三井住友銀行四国法人営業部 松山市千舟町
- (株)三井住友銀行松山支店 松山市千舟町
- えひめ寝台 松山市平田町
- 自衛隊愛媛地方協力本部 松山市三番町
- 東レファインケミカル(株)松山工場 松山市大可賀
- 大和リース協力会松山支部 松山市宮田町
- 大和リース(株)松山支店 松山市東石井
- 星企画(株) 松山市松前町
- 松山一栄会 松山市松前町
- (株)ぞっこん四国 松山市道後喜多町
- 特別養護老人ホーム久谷荘 松山市恵原町
- 学河原学園河原医療大学校 松山市花園町
- (株)竹中工務店愛媛営業所 松山市三番町
- (株)かに道楽松山店 松山市一番町
- (株)日本塗装工業会愛媛県支部 松山市福音寺町
- 明星工業(株)松山営業所 松山市南吉田町
- (株)横田建設共栄会 松山市中央
- (株)松山塗装業協会 東温市西岡
- (株)興行組国支店安全衛生協力会愛媛支部 松山市辻町
- 白石建設工業(株)松山共栄会 松山市千舟町
- (株)フジタ松山営業所 松山市本町

正式参拝

☆ 平成二十五年十月七日

午前十時本殿にて

画家智内兄助氏絵画奉納奉告祭が斎行され、智内兄助氏、中山紘治郎当社崇敬奉賛会会長、檜垣清隆副会長、森工業株式会社代表取締役社長、森勇二氏参列

「空・西方」の絵画をご奉納頂きました。



☆ 平成二十五年十月二十日

オペラ歌手
鶴澤美枝子

計二十名

☆ 平成二十六年一月一日

愛媛県隊友会
代表 瀬川紘一郎

四十名

☆ 平成二十六年一月八日

特別養護老人ホーム久谷荘
双葉友の会
会長 松本美枝子

計三十五名

☆ 平成二十五年十一月八日

後継者・慰霊巡拝参加者及び女性部研修会
会長 関谷勝嗣

計二〇〇名

☆ 平成二十六年一月二日

崇敬奉賛会

中山紘治郎会長御家族様六名新春祈願で参拝されました。

☆ 平成二十五年十一月二十七日

愛媛県神社庁松山支部
松山支部総代会
会長 安永 成

計七十名

☆ 平成二十六年一月七日

檜垣造船株式会社
代表取締役会長
檜垣清隆

計三名



☆ 平成二十六年一月三十一日

愛媛マングリンパイレーツ
球団 社長・監督・選手・
後援者他スタッフ総勢約
六十名で必勝祈願祭を斎行
し、優勝を誓った。

☆ 平成二十五年十二月二十三日

天皇陛下のお誕生日をお祝
いする集い記念講演
講師 谷田川 惣

☆ 平成二十六年一月八日

愛媛県遺族会事務局
事務局長 池見健次

計四名

☆ 平成二十六年二月五日

愛媛県遺族会役員
会長 関谷勝嗣

六名



☆ 平成二十六年三月九日

周敷神社・藤原神社合殿
宮司 松本美枝子

計四名